

●4月11日、ご協力ありがとうございました。
春日傘の季節を迎えますね。



日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート
日本共産党議員団
2021.4.15. No. 1794.
郵相調はお気軽に
TEL FAX とも **3905-0970**
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)

赤羽西口
えきまえ
トーク

●4月11日(日)の
午後の時間
そね都議
と
池内さおり
●足を止めて、
耳を傾ける方の
質問に、わかり
やすく、決意を込
めて答えました。



最初の策向は、薬剤師と保育士の方から

●医療従事者へのワクチン接種は、まだですが、
見直しはありますか。●私は保育士ですが…。
そね都議 安定した供給を国に求めています。



妻を介護しているが、介護保険料が高い。
その上、医療費の窓口負担を2倍に
こんな政治を変えてほしい。

そね都議 ほんとうにそうですね。都議選が間
近にせまっています。この東京から、政治を変えましょう。

福島原発の汚染水を海に流すなんて、
ひどい。やめてほしい。

そね都議 漁業関係者からは絶対反対の声
が、首相にも届いているにもかかわらず、4/3にも閣
議決定するというは許されない暴挙です。日本の
漁業の未来が危ないことになる。共に声をあげましょう。

●読者の方からの策向に
おこたえします。

▶私は77歳ですが、いつ接種を
しますか。インフルエンザの予防では、
板橋区のかかりつけの病院でや
っていただきました。コロナのワクチンは?

さがら 北区のワクチン接種コールセンタ
で確認したところ、①65歳以上の
方には、4月中旬以降に「接種券」を發
送予定です。②基礎疾患があり、
常に区外の病院で診察を受けている方は、
かかりつけ医による接種はできますが、
その医療機関が接種可能を確認して
下さい。

希望ある新しい政治を東京から

1 コロナ禍で浮き彫りになったゆがみをただし
命を守る「ケア」に手厚い東京に
「自助」の押しつけをやめ、医療・介護・障害福祉・保育を拡充し、
人びとを支える「ケア」に手厚い東京をつくります。

2 羽田・外環・カジノ…… “稼ぐ東京、より
都民の安全、福祉・子育ていちばんの都政へ
大企業に「儲ける場」を提供することばかり熱心で、安全無視の都
政を転換し、住民の福祉に力を尽くす自治体本来の姿を取り戻します。

3 個人の尊厳まもり、
ジェンダー平等実現へ
差別や分断をなくし、だれもが自分
らしく生きられる社会をめざすとく
みを首都・東京からすすめます。

4月10日は、女性が初めて
参政権をえて、行使してから
75年という記念すべき日です。

池内さおり前衆院議員は、
「私は現在、東京の日本共産党がすすめる
ジェンダー平等委員会の責任者です」と

自己紹介。そねはじめ都議、党都議団と力をあわせて、
独自調査を行ったところ、痴漢被害に苦悩の方々から、
1,400通の声が届いたこと、その声を知事に届け、対策と迫って
いると、都政を動かす党都議団の姿を語りました。

日本共産党都議団の
予算組み替え提案

都民のぬがいを実現するための予算の組み替えを毎年提案しています。今年度は●コロナ検査体制の拡充●子どもの国民健康保険料(税)均等割の減免●補聴器購入費用の補助●シルバーパスの改訂など計77項目を提案。東京都の予算7兆円のわずか2.3%を見直せば実現できるプランです。日本共産党の提案に自民、公明、都民ファアなどは反対し、否決しました。

都は医療機関・福祉施設職員の定期検査 日本共産党都議団 生活支援など対策の強化を

訪米直前
の
周議決定

●4月9日、「まん延防止等重点措置」適用にあたり、小池知事宛てに申入れをおこないました。この中、①定期検査は少なくとも、週回は行う ②医療機関の財政支援 ③東京五輪を中止して、対策に全力集中すること ④補正予算を審議する都議会臨時会を招集することなどを求めています。▶4/14、定明に週回が開始

北区の新型コロナ65歳以上のワクチン接種について 4/10「北区ニュース」にお知らせが載っていました。

▶北区の取り組み・予約方法などの
問い合わせは、
0120-801-222
午前9時～午後5時(土日・祝日除く)



北区では、ワクチン接種のため タクシーによる移動支援を 開始することになりました。

●5月から、本格的にはじまるワクチン接種。高齢の方への移動を支援するため、「北区災害時搬送協定会員」の協力で実施へ。
●4月9日、プレスリリースされました。
問い合わせ: 03-3908-1134
北区健康福祉部地域医療連携担当課

これは、5月18日の
「北区ニュース」掲載後

最悪のタイミングに、なぜ、周議決定急いだのか!

それは、福島の漁業が、
本格操業と始めて2週間

数日後に菅首相の初訪米

●4月13日のNHKニュースでは、米国側の海洋放出と歓迎する声を紹介されていた。「米国の手みやげ」といふことと、怒りが、

復興の前提を壊す

生きる場 汚すのか



政府が1日、東京電力福島第1原発で発生する放射能汚染水を処理した後の高濃度のトリウム(3重水素)を含む汚染水(ラゲルプス処理水)の海洋放出方針を決定したことに対し、抗議や撤回を求める声が上がっています。

福島大学准教授 林薫平さん



今月、福島の漁業は「試験操業」から「本格操業」に「一歩を踏み出したばかりです。漁師は昨年からの、水揚げ量を5年間で震災前の6割まで回復させるなど、地区・漁の方針などに目標を立て、意欲を持って増産を開始しています。他県産の魚を持ちこたえきた地元の人買人も、福島産の魚が増えるなかで立て直そうとしてい

漁師が永遠に使う海だ

福島の漁師は、汚染水が漁なり、耐えられない。菅首相の会見を見たが、作文を読んでいるだけで漁民への思いは感じられなかった。所信表明演説で言った「国民に寄り添う」という姿勢もない。今も福島産の魚が漁獲量よりも少ない理由を考えたい。

反原連が緊急抗議



「しんぶん赤旗」の4/14付

「何の説明もない。はらわたが煮えくり返る」

漁業立て直す矢先

前提は、汚染水の問題はもう終わらたという。政府・東電との約束で、それをほったしる海洋放出決定に地元は困惑しています。政府は、漁業が被害を受けるので風評対策と補償をすればいいと考えています。しかし市場関係者や消費者と一緒に積み上げてきた復興の前提が崩壊し、振り出しに戻ってしまうのに、どう補償をしようか。と

汚染水海洋放出決定 怒りの声

しんぶん赤旗で使う福島の漁師を支援する小野春雄さん(4/10日) 福島の漁師